

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社
2022年3月期 第1四半期
決算補足資料

2021年7月28日

I.連結業績

1. 損益計算書
経営成績の概要
販売費および一般管理費
営業外収益・費用
特別利益・特別損失
2. 貸借対照表
3. 設備投資

II.通期見通し

1. 業績予想
2. 設備投資の予想

III.個別業績

1. 株式会社阪急阪神百貨店
2. イズミヤ株式会社
3. 株式会社阪急オアシス

I. 連結業績

1. 損益計算書

<経営成績の概要>

(百万円)

	19/6 金額	20/6 金額	金額	21/6	
				前年比	増減
百貨店事業	113,518	48,408	66,697	137.8%	+ 18,289
食品事業	87,971	73,148	73,346	100.3%	+ 197
商業施設事業	2,129	17,073	13,025	76.3%	△ 4,047
その他事業	13,505	7,274	8,110	111.5%	+ 835
総額売上高	217,124	145,904	161,179	110.5%	+ 15,275
売上高	217,124	145,904	114,285	-	-
百貨店事業	2,872	△ 2,945	△ 1,846	-	+ 1,098
食品事業	△ 803	1,482	1,335	90.1%	△ 147
商業施設事業	1,160	△ 107	23	-	+ 130
その他事業	2,893	526	△ 1,090	-	△ 1,616
調整額	△ 3,268	△ 2,250	△ 466	-	+ 1,784
営業利益	2,854	△ 3,293	△ 2,044	-	+ 1,249
経常利益	3,511	△ 2,996	△ 949	-	+ 2,046
特別利益	-	-	15,541	-	+ 15,541
特別損失	254	5,246	4,218	80.4%	△ 1,027
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,569	△ 6,111	6,277	-	+ 12,388

※1. 2022年3月期より報告セグメント区分「不動産事業」の名称を「商業施設事業」へと変更。

また、従来、その他事業に含まれていた株式会社阪急キッチンエール関西、株式会社エブリデイ・ドット・コム、
有限会社阪急泉南グリーンファームは食品事業に、株式会社大井開発は商業施設事業に移管。

前年実績は、変更後の報告セグメント区分に組み替え。前々年は、変更前の報告セグメント区分に基づく、実績値。

※2. 2022年3月期より収益認識に関する会計基準を適用し、消化仕入れ契約に基づく売上高等の計上方法を変更。

売上高に大きな影響が生じるため前年比および前年増減の記載をしていない。

なお、これらの会計処理方針の変更による影響を除外した前期までの売上高に相当する数値を総額売上高として記載。

<販売費及び一般管理費>

(百万円)

	19/6 金額	20/6 金額	金額	21/6	
				前年比	増減
人件費	23,690	18,396	19,275	104.8%	+ 878
賃借料	9,876	7,064	8,468	119.9%	+ 1,404
広告宣伝費	2,976	706	1,254	177.4%	+ 547
減価償却費	4,040	3,658	3,536	96.7%	△ 121
委託作業費	4,912	4,605	4,389	95.3%	△ 216
販売手数料	3,113	2,309	1,111	48.1%	△ 1,197
運搬費	3,571	3,474	3,372	97.0%	△ 102
その他	7,979	6,804	7,037	103.4%	+ 233
合計	60,162	47,020	48,445	103.0%	+ 1,424

※ 2022年3月期より収益認識に関する会計基準を適用。

<営業外収益・費用>

(百万円)

	19/6 金額	20/6 金額	金額	21/6	
				前年比	増減
営業外収益	1,642	1,629	1,827	112.2%	+ 198
受取利息	30	89	118	133.2%	+ 29
為替差益	68	-	679	-	+ 679
受取配当金	724	852	593	69.6%	△ 258
諸債務整理益	433	516	261	50.6%	△ 255
その他	385	170	174	101.9%	+ 3

営業外費用	985	1,332	733	55.0%	△ 599
支払利息	183	195	236	121.4%	+ 41
商品券等回収引当金繰入額	348	433	210	48.5%	△ 223
持分法による投資損失	66	363	156	43.1%	△ 206
その他	386	340	129	38.1%	△ 210

※ 2022年3月期より収益認識に関する会計基準を適用。

<特別利益・特別損失>

(百万円)

	19/6 金額	20/6 金額	金額	21/6
				主な内容
特別利益	-	-	15,541	
固定資産売却益			8,881	中津・大淀 保有不動産売却
投資有価証券売却益			6,485	政策保有株式売却
助成金収入			174	雇用調整助成金等

特別損失	254	5,246	4,218	
新型コロナウイルス感染症による損失			3,753	阪急阪神百貨店
店舗等閉鎖損失			270	イズミヤ
固定資産除却損			194	

2. 貸借対照表

(百万円)

	20/6末	21/3末	21/6末
現金及び預金	27,347	49,991	47,418
受取手形及び売掛金	48,351	54,385	50,408
棚卸資産	29,110	23,339	24,192
流動資産合計	117,253	139,291	132,786
有形固定資産	271,203	261,386	257,989
無形固定資産	19,431	16,729	16,170
投資その他の資産	193,778	208,538	201,203
固定資産合計	484,413	486,653	475,363
資産合計	601,666	625,945	608,150
支払手形及び買掛金	42,349	48,996	42,700
借入金及び社債	174,547	188,547	188,323
負債合計	361,001	396,667	377,408
株主資本	212,890	192,763	198,095
純資産合計	240,664	229,277	230,741
負債純資産合計	601,666	625,945	608,150

3. 設備投資

(百万円)

	金額	21/6
		主な内容
百貨店事業	418	
食品事業	875	阪急オアシス新規出店
商業施設事業	598	エイチ・ツー・オー 商業開発 SC化推進
その他事業	461	エイチ・ツー・オー リテイリング(株)システム投資
合計	2,353	

II. 通期見通し

1. 業績予想

(百万円)

	第1・2四半期		第3・4四半期		通期	
	予想	前年比	予想	前年比	予想	前年比
百貨店事業	158,000	114.3%	232,000	110.7%	390,000	112.1%
食品事業	146,000	98.9%	151,000	104.0%	297,000	101.5%
商業施設事業	24,000	70.4%	16,000	51.7%	40,000	61.5%
その他事業	17,000	107.9%	21,000	117.3%	38,000	112.9%
総額売上高	345,000	102.8%	420,000	104.1%	765,000	103.5%
売上高	240,000	-	260,000	-	500,000	-
百貨店事業	△ 3,900	-	4,400	283.4%	500	-
食品事業	1,700	59.6%	2,800	226.8%	4,500	110.1%
商業施設事業	△ 400	-	△ 100	-	△ 500	-
その他事業	△ 1,000	-	△ 2,000	-	△ 3,000	-
調整額	△ 1,600	-	△ 900	-	△ 2,500	-
営業利益	△ 5,200	-	4,200	-	△ 1,000	-
経常利益	△ 5,250	-	3,250	217.7%	△ 2,000	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,050	-	1,950	-	5,000	-

※1. 2022年3月期より報告セグメント区分「不動産事業」の名称を「商業施設事業」へと変更。

また、従来、その他事業に含まれていた株式会社阪急キッチンエール関西、株式会社エブリデイ・ドット・コム、
有限会社阪急泉南グリーンファームは食品事業に、株式会社大井開発は商業施設事業に移管。

前年実績は、変更後の報告セグメント区分に組み替え。前々年は、変更前の報告セグメント区分に基づく、実績値。

※2. 2022年3月期より収益認識に関する会計基準を適用し、消化仕入れ契約に基づく売上高等の計上方法を変更。

売上高に大きな影響が生じるため前年比および前年増減の記載をしていない。

なお、これらの会計処理方針の変更による影響を除外した前期までの売上高に相当する数値を総額売上高として記載。

2. 設備投資の予想

(百万円)

	予想	通期
		主な内容
百貨店事業	19,736	阪神本店建替工事
食品事業	4,868	イズミヤ店舗改装、阪急オアシス新規出店
商業施設事業	2,540	エイチ・ツー・オー 商業開発 SC化推進
その他事業	4,318	エイチ・ツー・オー リテイリング(株)システム投資
連結調整	△ 1,462	
合計	30,000	

Ⅲ. 個別決算

1. 株式会社阪急阪神百貨店

<経営成績>

(百万円)

	金額	前年比	増減
総額売上高	66,176	137.9%	+ 18,184
売上総利益	14,960	136.1%	+ 3,970
(売上総利益率)	22.61%	-	△0.29pt
その他の営業収入	685	130.5%	+ 160
販売費及び一般管理費	17,465	121.7%	+ 3,115
(販管费率)	26.39%	-	△3.51pt
営業利益	△ 1,820	-	+ 1,015
(営業利益率)	-	-	-

※ 個別決算においては、収益認識に関する会計基準適用前の数値を記載。

<店別取扱高、入店客数>

(百万円、千人)

	金額	前年比	入店客数	前年比
阪急本店 ※1	31,047	138.6%	4,233	123.5%
阪神梅田本店	4,533	112.1%	2,486	110.1%
千里阪急	2,538	112.2%	857	103.0%
高槻阪急 ※2	3,599	110.5%	1,568	112.7%
川西阪急	2,475	115.7%	986	119.5%
宝塚阪急 ※3	1,526	117.2%	-	-
西宮阪急	4,207	131.8%	1,996	124.3%
三田阪急 ※3	201	192.4%	-	-
神戸阪急 ※2	5,742	144.9%	2,191	131.0%
博多阪急	8,404	221.3%	3,861	220.0%
阪急メンズ東京	1,658	166.6%	214	220.9%
大井食品館	1,039	98.3%	1,092	104.7%
都筑阪急	735	118.7%	538	119.6%
あまがさき阪神 ※3	617	109.9%	-	-
阪神・にしのみや	940	106.6%	860	109.4%
阪神・御影	99	120.0%	1,061	126.4%
支店計	33,788	139.5%	15,229	134.8%
全店計	69,368	136.9%	21,950	129.2%

※1. 阪急メンズ大阪を含む

※2. 百貨店の売上高と専門店の取扱高(3,192百万円)の合計。

※3. 入店客数計測器を設置していないため

<商品別売上高>

(百万円)

	金額	前年比	構成比
紳士服・洋品	4,622	127.2%	6.7%
婦人服・洋品	7,644	142.0%	11.0%
子供服・洋品	1,367	126.7%	2.0%
その他の衣料品	1,275	126.8%	1.8%
衣料品	14,911	134.3%	21.5%
身の回り品	12,441	157.2%	17.9%
家庭用品	1,720	142.5%	2.5%
食料品	22,764	126.1%	32.8%
食堂・喫茶	750	151.5%	1.1%
雑貨	13,052	147.4%	18.8%
サービス	266	155.2%	0.4%
その他	3,461	120.7%	5.0%
合計	69,368	136.9%	100.0%

※ 百貨店の売上高と専門店の取扱高(3,192百万円)の合計。

<月次売上高の推移>

	4月	5月	6月
阪急本店 ※1	422.9%	65.7%	108.6%
阪神本店	251.9%	78.9%	82.4%
支店計	258.6%	132.3%	99.1%
全店計	313.6%	101.3%	102.5%

※ 阪急メンズ大阪を含む

<業績予想>

(百万円)

	第1・2四半期		第3・4四半期		通期	
	予想	前年比	予想	前年比	予想	前年比
総額売上高	156,872	114.5%	230,266	110.6%	387,139	112.1%
営業利益	△ 3,835	-	4,437	293.5%	601	-

※ 個別決算においては、収益認識に関する会計基準適用前の数値を記載。

<店別取扱高予想>

(百万円)

	第1・2四半期		第3・4四半期		通期	
	予想	前年比	予想	前年比	予想	前年比
阪急本店 ※1	79,726	117.2%	119,344	111.5%	199,070	113.7%
阪神梅田本店	9,034	79.9%	30,502	184.9%	39,537	142.2%
千里阪急	5,826	106.2%	6,542	88.9%	12,369	96.3%
高槻阪急 ※2	8,090	101.6%	9,380	89.7%	17,471	94.9%
川西阪急	5,524	103.1%	6,299	91.4%	11,823	96.5%
宝塚阪急	3,143	104.2%	3,340	89.8%	6,483	96.3%
西宮阪急	9,859	114.2%	11,494	93.1%	21,353	101.8%
三田阪急 ※3	448	109.9%	0	0.0%	448	42.3%
神戸阪急 ※2	13,137	115.5%	14,971	87.6%	28,109	98.7%
博多阪急	18,420	149.5%	23,360	107.8%	41,781	122.9%
阪急メンズ東京	4,205	130.4%	5,653	103.4%	9,859	113.4%
大井食品館	2,046	93.9%	2,102	87.2%	4,148	90.4%
都筑阪急	1,379	101.1%	1,538	90.2%	2,918	95.1%
あまがさき阪神	1,280	99.0%	1,369	88.2%	2,649	93.1%
阪神・にしのみや	1,875	98.7%	1,923	85.8%	3,799	91.7%
阪神・御影	224	106.8%	256	95.6%	480	100.5%
支店計	75,462	116.5%	88,233	94.0%	163,696	103.2%
全店計	164,223	114.0%	238,080	109.5%	402,304	111.3%

※1. 阪急メンズ大阪を含む

※2. 百貨店の売上高と専門店の取扱高(15,164百万円)の合計

※3. 2021年8月1日営業終了

2. イズミヤ株式会社

<経営成績>

(百万円)

	金額	前年比	増減
総額売上高	33,498	101.5%	+ 481
売上総利益	8,816	100.8%	+ 66
(売上総利益率)	26.32%	-	△0.18pt
その他の営業収入	2,748	93.6%	△ 189
販売費及び一般管理費	10,846	101.5%	+ 160
(販管費率)	32.38%	-	+0.01pt
営業利益	717	71.7%	△ 283
(営業利益率)	2.14%	-	△0.89pt

※ 個別決算においては、収益認識に関する会計基準適用前の数値を記載。

店舗数	75	-
-----	----	---

<開閉店の状況>

開店	-
閉店	-

<月次売上高の推移>

	4月	5月	6月	1Q累計
既存店	92.9%	99.4%	100.7%	97.5%

<業績予想>

(百万円)

	第1・2四半期		第3・4四半期		通期	
	予想	前年比	予想	前年比	予想	前年比
総額売上高	69,030	103.0%	73,223	111.0%	142,254	106.9%
営業利益	1,375	69.0%	1,300	118.0%	2,675	86.4%

※ 個別決算においては、収益認識に関する会計基準適用前の数値を記載。

3. 株式会社阪急オアシス

<経営成績>

(百万円)

	金額	前年比	増減
総額売上高	27,863	100.2%	+ 61
売上総利益	7,620	102.8%	+ 205
(売上総利益率)	27.35%	-	+0.68pt
その他の営業収入	1,797	100.4%	+ 7
販売費及び一般管理費	8,817	102.5%	+ 216
(販管費率)	31.65%	-	+0.71pt
営業利益	600	99.4%	△ 3
(営業利益率)	2.16%	-	△0.02pt

※ 個別決算においては、収益認識に関する会計基準適用前の数値を記載。

店舗数	76 (前年 -2)
-----	------------

<開閉店の状況>

開店	神戸三宮店(兵庫県)
閉店	枚方出口店(大阪府)、あびこ店(大阪府)

<月次売上高の推移>

	4月	5月	6月	1Q累計
既存店	94.2%	100.7%	106.3%	100.3%

<業績予想>

(百万円)

	第1・2四半期		第3・4四半期		通期	
	予想	前年比	予想	前年比	予想	前年比
総額売上高	55,409	99.0%	55,446	101.2%	110,855	100.1%
営業利益	1,040	91.4%	946	251.2%	1,987	131.1%

※ 個別決算においては、収益認識に関する会計基準適用前の数値を記載。